

平成26年度

兵庫県立視覚特別支援学校

支援部

アイ・あい だより



3月号

## 春の訪れが感じられます

本校中庭にある梅もきれいに咲き、私たちの目を和ませてくれています。

あたたかい風が吹きはじめ、過ごしやすい日も増えてきましたが、まだまだ朝晩は冷え込んでいます。衣服の調節などで体調には気をつけていきたいですね。



いよいよ3月、1年間の締めくくりです。今年度の本校の教育相談や集団活動はいかがでしたか？教育相談や活動を通して、日々の中で子どもたちの成長を感じていただけたら幸いです。これからも支援部では、保護者や担任の先生方とともに、子どもたちの成長を見つめ、ひとつひとつの変化を喜び合いながら、支え合っていきたいと考えています。ぜひご意見、ご感想をお聞かせください。

## 相談室から

いつも、教育相談にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

来年度もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、来年度の教育相談ですが、4月の相談につきましては、4月1日以降に電話でご予約ください。なお、4月は本校に入学された子どもさんのサポートを行う関係で、ご希望の相談日時や回数が取れないこともあります。ご理解ください。

5月以降につきましては、校外の教育相談を中心にしていく予定です。

どうぞよろしくお願ひします。



## 触る力を育てよう

視覚を補う感覚として、触覚、聴覚、嗅覚、味覚等さまざまなものがあります。いずれの感覚もとても大切です。その中でも、「触覚を使った観察」は、触ることにより、手触りなどの細かいこともわかり、得た情報を忘れにくいという特徴があります。

### 触る意欲を育てよう

自分から触ろうとする、自主性が大切です。

興味があるものを触りましょう。

何度も触りたい（気持ちが良い、触るとわかる）と思えるようにしましょう。



### 触る前に

安心して触ることができる環境を整えましょう（安全なもの、わかりやすい配置）。

何を触るのか、はじめにわかるように伝えましょう（わからないものは怖い）。

触覚過敏がある場合、触ることが苦手です。無理やり触らせずに、触れることに慣れる、触れても大丈夫なものを見つけることから、はじめましょう。

### 何から触ろう？

①好きなもの・興味があるものの実物

②肌触りのいいもの（ぬいぐるみ等）・単純な形（○△□）・触って形がくずれないもの

③少し違和感のあるもの（ぬるっとしたもの等）・複雑な形・触ると形がくずれてしまうもの



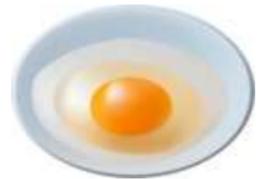
### おとなの関わり方

まずは、手を添えて一緒に触ります。

触っているものが何か、たずねたり、説明したりしましょう。

触っているものの形（丸い、大きい・小さい、細い・太い等）や、感触（かたい・やわらかい、熱い・冷たい、ふわふわ、ざらざら、つるつる等）

を、一緒に表現しましょう。



### 食べる物も触ってみよう

魚には骨があること、トマトにはへたが付いていることを知っている、口に入れる前に、骨を除いたり、へたを外したりできます。でも、知らずに食べて、骨が刺さったり、へたが口に残ったりすると、痛い、苦い等の、つらい経験になってしまいます。食べる物がどうなっているかを知っておくことは、安心しておいしく食べることに繋がります。幼少期では、食べる物を手で触って、これは何かな、どうなっているかなと知ることも大切です。

